

**平成 30 年度**

**文化財保存学保存修復**

**修士課程 Ⅱ期 入試**

**実技試験**

**石膏デッサン**

**<ラボルト>**

**試験時間**

**5 時間**

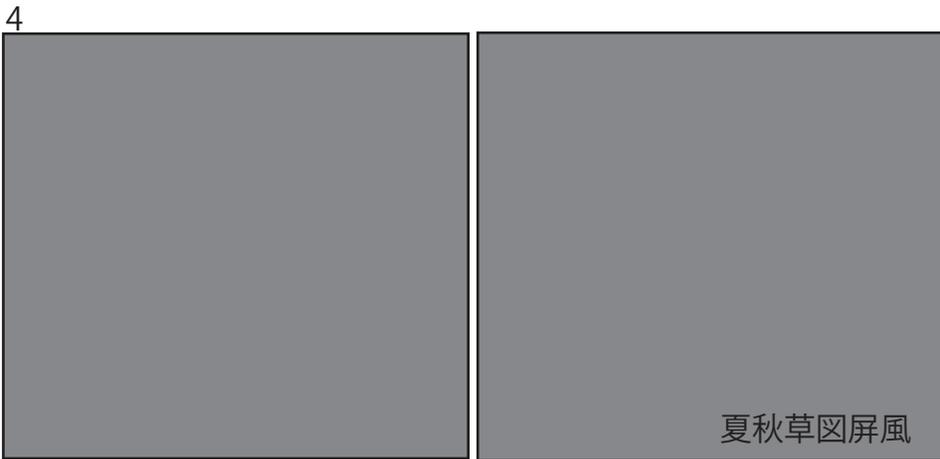
**10 : 00 ~ 12 : 00**

**13 : 00 ~ 16 : 00**





志望専攻		受験番号		氏名	
------	--	------	--	----	--



問題用紙 A

平成 30 年度 文化財保存学専攻 修士課程 入学試験問題

(筆答試験)

専門 保存修復 油画

志望専攻		受験番号		氏名	
------	--	------	--	----	--

問題 1. 下記にあげた 3 項目は油彩画修復の専門用語である。その内の 1 項目を選択し、その修復方法や使用材料、修復効果に

ついて 300 字以内で述べよ。

1. 裏打ち
2. 充填整形
3. 補彩

問題 2. 下記にあげた 3 項目は絵の具に使われる名称である。その内の 1 項目を選択し、その用語解説を 300 字以内で述べよ。

1. レーキ
2. イエローオーカー
3. ラピスラズリ

問題 3. 下記にあげた 4 項目は絵画の専門用語である。その内の 1 項目を選択し、その用語解説を 300 字以内で述べよ。

1. 媒剤 (メディウム)
2. 溶き油
3. 体質顔料
4. 油絵の具

問題 4. 下に示した写真①は、写真②の X 線透過写真である。この X 線透過写真から、どのようなことが読み取れるか、X 線透過撮影の原理とともに 400 字以内で述べよ。

①

②

東京芸術大学大学美術館蔵

藤田嗣治『自画像』

X線透過像

東京芸術大学大学美術館蔵

藤田嗣治『自画像』

正常光写真





保存修復彫刻 問題用紙

受験番号	氏名

【問 1】

①～⑥の説明文に最もふさわしい語句を、語句欄の中から選びなさい。また、選択した語句の読み仮名を記しなさい。

説明文	語句欄
<p>① 上部に輪がついている棒状の道具で、地藏菩薩が持っていることが多い。</p> <p>② 仏像の首にみられるしわの表現。</p> <p>③ 菩薩などが肩からたすき状に懸けている帯状の装束。</p> <p>④ 2つの材木を接合する際に打ち込む、コの字型の金具。</p> <p>⑤ 材木を固定する際に用いる部材。棒状のものや角型のものがある。</p> <p>⑥ 仏像の頭上や光背に配置されている、小さな像。</p>	<p>三道 鍔 条帛 耳朶 化仏 錫杖 雇柄 螺髪</p>

【問 2】

下記の構造技法について、それぞれ回答欄に収まる範囲で説明しなさい。また、選択欄 Aの中から、各構造技法に該当するすべての作例を選びなさい。名称は省略しないこと。

1, 脱活乾漆造	2, 一木造	3, 寄木造
----------	--------	--------

選択欄 A	
<p>奈良県唐招提寺金堂 千手観音菩薩立像</p> <p>奈良県東大寺法華堂 執金剛神立像</p> <p>奈良県薬師寺金堂 薬師如来坐像</p> <p>奈良県室生寺金堂 薬師如来立像(伝釈迦如来)</p>	<p>京都府神護寺 薬師如来立像</p> <p>奈良県東大寺南大門 金剛力士立像</p> <p>奈良県聖林寺 十一面観音菩薩立像</p> <p>奈良県興福寺 八部衆のうち乾闥婆立像</p>

【問 3】

選択欄 B にあるア～カの像を、古いものから制作年代順に並べなさい。

【問4】

選択欄 B にあるア～カの中から好きな像を2つ選び、名称・制作された時代や、造形・構造技法の特徴などについて、それぞれ解答欄に収まる範囲で記述しなさい。

選択欄 B

ア

法華寺十一面観音菩薩立像

イ

法隆寺観音菩薩立像（百済観音）

ウ

興福寺北円堂無著菩薩立像

エ

唐招提寺鑑真和上坐像

オ

平等院鳳凰堂阿弥陀如来坐像

カ

高德院阿弥陀如来坐像

保存修復彫刻 解答用紙

受験番号	氏名

**【問 1】**

説明文	語句	読み仮名
①		
②		
③		

説明文	語句	読み仮名
④		
⑤		
⑥		

**【問 2】**

1, 脱活乾漆造

〈技法の説明〉

〈作例〉

2, 一木造

〈技法の説明〉

〈作例〉

3, 寄木造

〈技法の説明〉

〈作例〉

**【問3】** ※記号で答えること

古【       】→【       】→【       】→【       】→【       】→【       】新

**【問4】**

(仏像の名称：

※記号でなく漢字で記すこと)

(仏像の名称：

※記号でなく漢字で記すこと)

平成30年度 文化財保存学専攻 修士課程 入学試験問題  
筆頭試験(2) 専門 保存修復工芸 問題用紙

受験番号	氏名

【問1】 A枠内にある①～⑥の中から2つ選び下線 \_\_\_\_\_ が引かれている箇所の読みをひらがなで記入し、300字程度で作品について解説しなさい。また、その作品に当てはまる写真をB枠内ア～カの中から選び、記号で答えなさい。

- A**
- ① 伝フレデリック・ファン・フライトム絵付け 『藍絵イタリア風景図陶板』(17世紀末) 高さ61cm×横103cm デルフト窯
  - ② 『舟橋蒔絵硯箱』 江戸時代(17世紀) 縦24.2cm 横22.9cm 高11.8cm
  - ③ 『油滴天目茶碗』 南宋時代(12-13世紀) 高さ7.0cm 建窯
  - ④ 『色絵花鳥文大深鉢』 江戸時代(17世紀) 高さ21.4cm 伊万里焼
  - ⑤ 『青磁茶碗 銘馬蝗絆』 南宋時代(13世紀) 高さ9.6cm 龍泉窯
  - ⑥ 『金銀鈿荘唐大刀』 奈良時代(8世紀) 全長99.9cm

**B**

ア 出典：東京国立博物館  
『青磁茶碗 銘馬蝗絆』

イ 出典：東京国立博物館  
『舟橋蒔絵硯箱』

エ 出典：宮内庁 『金銀鈿荘唐大刀』

オ 出典：東京国立博物館  
『色絵花鳥文大深鉢』

カ 出典：東京国立博物館  
『油滴天目茶碗』

ウ 出典：アムステルダム国立美術館 - Rijksmuseum  
伝フレデリック・ファン・フライトム絵付け 『藍絵イタリア風景図陶板』

【問2】 今まであなたが接してきた修復事例の中で特に印象に残っているものを一つ上げ、作品の名称・年代・概要とともに、どのような機会にどこで接したか、何故印象に残っているかを述べなさい。(600字以内)

